

平成28年度 第1回千葉県博物館協議会会議 議事録要旨

1 日 時

平成28年7月28日（木） 午後1時30分～3時30分

2 会 場

千葉県立中央博物館 会議室

3 出席者

【委 員】柳谷委員、中原委員、鵜澤委員、細井委員、米本委員、岡本委員、高橋委員、齊藤委員、常光委員

【博 物 館】（美術館）田村館長、（中央博物館）中村館長、（現代産業科学館）平賀館長、（関宿城博物館）谷鹿館長、（房総のむら）安藤館長

【文化財課】永沼文化財課長 植野主幹兼学芸振興室長

4 議事概要

(1) 開 会

(2) ごあいさつ

ア 千葉県立中央博物館 中村館長

イ 千葉県教育庁教育振興部文化財課 永沼課長

(3) 千葉県博物館協議会委員自己紹介

(4) 出席職員紹介

(5) 議事

ア 議長及び副議長の選出について

○事務局 今回は委員改選後の初の会議で、博物館協議会運営規則第2条に議長及び副議長は、委員の互選によって定めるとされている。委員の中から議長及び副議長を選出していただけますようお願いしたい。

○委 員 事務局に一任。

○事務局 一任の声をいただいたが、他の委員の方いかがか。

○委 員 異議なし。

○事務局 事務局案としては、議長を岡本委員、副議長を常光委員をお願いしたい。

○委 員 異議なし。

○事務局 それでは、議長を岡本委員、副議長を常光委員をお願いする。博物館協議会運営規則第2条第4項の規定により、岡本議長に議事進行をお願いし

たい。

イ 各博物館の現状について

○議長 各博物館の現状について説明をお願いしたい。

(各館からの説明)

○議長 ただいまの説明について、何か質問はあるか。

○委員 房総のむらの各国語のガイドブックはよいと思う。実際に外国人来館者は増加したのか。

○房総のむら館長

ここ数年は5000人程度で推移している。ただ毎年来館する国の傾向が変化している。平成27年度は台湾、タイ、韓国の順番で、平成26年度は台湾、タイ、中国の順番で入館者数が多かった。社会の情勢によって変化するのかもしれない。ここ数年で外国人入館者数が急激に増えているわけではない。

○委員 言葉の対応はどうしているのか。

○房総のむら館長

基本的に英語で対応している。体験イベントの内容など簡単なものの場合にはジェスチャーで対応している。

○委員 外国からの来館者はなぜ房総のむらを知って来館するのか。

○房総のむら館長

詳細は不明。高校生の場合は教育旅行で訪れる場合が多く、日本の高校との交流のついでに訪れることが多い。

○委員 成田空港の待ち時間を利用して外国人客が訪れることはあるか。

○房総のむら館長

成田市によると、訪日外国人の増加に比べて、成田に宿泊する外国人は増えていないようである。房総のむらまで足を伸ばしてくれる外国人はほとんどいないと考えている。

○中央博物館長

教育旅行の件だが、県の観光誘致促進課と観光企画課が、教育旅行の積極的なPR活動を行っている。一昨年は台湾で重点的にPRが行われたので、台湾からの教育旅行が増えているのはその結果と考えられる。

○委員 各館でも同様の傾向がみられるのか。

○中央博物館長

中央博物館の本館はあまりない。大多喜城分館には、留学生を受け入れている専門学校の学生が定期的に訪れている。

○現代産業科学館長

最近中国系の来館者が増えている。ただ具体的な数字は不明。子供に科学的な知識を身につけさせたいということで訪れているようである。

○中央博物館長

補足すると、観光庁が行っているMICEという事業がある。幕張メッセ等での国際会議等の終了後に近隣の美術館・博物館等の施設を見学するというものである。外国では食事をしながら展示を見学したりすることもあるらしい。日本でも各地で展開が始まっており、先日中央博物館にも依頼があった。これがきっかけとして中央博物館を訪れる外国人が増えることも予想される。

○美術館長

美術館でも話題になっているが、美術館には美術館のスタンスがあり、展示室での飲食は認められない。断るべきところは断ったほうがよいと考えている。

○委員 県立美術館の予算について質問する。平成27年度と平成28年度を比べるとマイナスになっているが、これは展示の内容が変わったためか。

○美術館長

昨年度は特別展があったため、予算が今年度よりも多かった。

○委員 小学生の頃から博物館に来るようになると、大人になってからリピーターになり得るので、小中学生のファンを作るのは大事だと思う。年間どのくらい小学生が来館しているのか。また小学生を取り込むような計画等はあるか。

○文化財課

文化財課では、ここ5年にわたって県内すべての公立・私立・特別支援学校の新入生に無料招待券を毎年12万枚ほど配布している。子供だけでなく父兄も無料で入館することができる。アンケートによると、5年前は90%がこの券を使って初めて博物館に来たという結果がでていた。昨年度は70%だったので、周知されてきたのではないかと考えている。

○中央博物館長

7月9日から中央博物館本館で企画展が開催される。7月27日現在で約4000人の入館者があった。うち321人が新入生無料招待券を使用している。効果が出ていると思う。特に千葉市内の小中学校が多く使用している。生態園では季節ごとの利用が、中学生では職場体験での利用もある。しかし、学校に対するPRが足りない部分もあり、4月には5教

育事務所管内の校長会議に出席し、博物館の利用について紹介したところである。

○現代産業科学館長

現代産業科学館では様々な学習キットの貸出をしており、出張講座で科学実験等も行っている。

○議長 学校教育との連携は、この協議会の主要なテーマである。博物館は学校に働きかけを行っているが、学校が外に出ていくのが難しいようである。学校教育側の問題もあるのではないか。学校教育側からお話をいただきたい。

○委員 先日全国歴史教育研究協議会があり、博学連携の分科会に参加した。高校教育の中でどのように博物館と連携し、教育現場に生かしていくかということがテーマだった。埼玉県の場合では、若手の教員が博物館にある資料を教材化する取り組みをしている事例が紹介された。また他県からも博物館が持っている様々な資料を、教員自身が自分の授業につかえる取り組みが紹介された。教科書や資料集だけで授業するのではなく、博物館にある本物で授業をすることは違う。そこに教員が直接関わることは意味が大きいと思う。教員の研修に必ず博物館を取り入れてはどうか。

○中央博物館長

各地区の教員の研究部会の利用がある。例えば6年目の研修や10年目の研修の時に美術館や博物館を使う研修があればいいのではないか。以前は初任研修で美術館・博物館見学があったが、最近はなくなっている。現状では美術館・博物館の内容を知らないまま教員をしているのは残念。

○議長 他に質問はあるか。なければ次の議題に移りたい。

ウ 今期の協議テーマについて

○議長 今期の協議テーマについて、事務局から説明をお願いしたい。

(中央博物館長が説明)

○議長 なにか意見はあるか。

○委員 冒頭に観光の話が出ていたが、美術館・博物館が観光資源をどう利用するのか考えていく必要がある。観光について話をする機会があるのか。美術館で今期の協議テーマにしている「収蔵資料の活用について」は観光も含まれるのか。千葉県南部には博物館がない。千葉県を全体で捉えるような視点で、美術館・博物館資料を活用する必要があるのではないか。そのときに観光という切り口がいいのではないか。

○美術館長

収蔵資料の活用について、観光を入れるのは厳しい。現在力を入れているのが収蔵資料の活用なので、この協議テーマでお願いしたい。

- 事務局 博物館法上の博物館協議会の役割として、館長の諮問に応ずる以外に、館長に対して意見を述べる機関であることが明記されている。協議テーマにこだわらず、博物館全体に対して意見をいただきたい。
- 委員 各館が抱えている問題を協議テーマにするというのはいいと思う。各館が抱えている問題は他館でも共通してくる問題ではないか。ただ、キーワードとして「観光」であるとか「体験」であるとか、いくつかのキーワードを意識して考えてみるのもいいのではないか。
- 議長 協議テーマについては今日の意見を含めて事務局で練ってもらいたい。他に意見はあるか。
- 委員 観光についてだが、外国人来館者にアピールするためには世界史と結びつけたストーリー立てすることによって、より魅力的になるのではないか。
- 委員 英語バージョンでのインターネット発信はあるか。
- 事務局 県立博物館のホームページには簡単な英語のページのみで、課題と考えている。
- 委員 県としてのサポートはどうなっているか。
- 事務局 オリンピック・パラリンピックを控え、千葉県全体でどう取り組んでいるのか方針を策定中。美術館・博物館も足並みを揃えて対応していく予定である。

エ その他

- 議長 その他なにかあるか。
- 委員 先ほど現代産業科学館が、入館者に中国系が多いという話をしたが、入館者が外国の方かどうかはどのように確認しているのか。
- 現代産業科学館長
チケットカウンターで、見た目チェックしている。団体は受付時にチェックしている。
- 房総のむら館長
房総のむらでは入口で国籍を確認している。
- 美術館長 入館票の記載時に確認している。
- 議長 それでは議事を終了し、事務局に進行をお返しする。

(6) 諸連絡

次回の案内について。

(7) 閉会

(会議終了後、企画展「驚異の深海生物—新たなる“深”世界へ—」見学)